

FORRESTER®

Total Economic Impact™ (TEI、総経済効果)

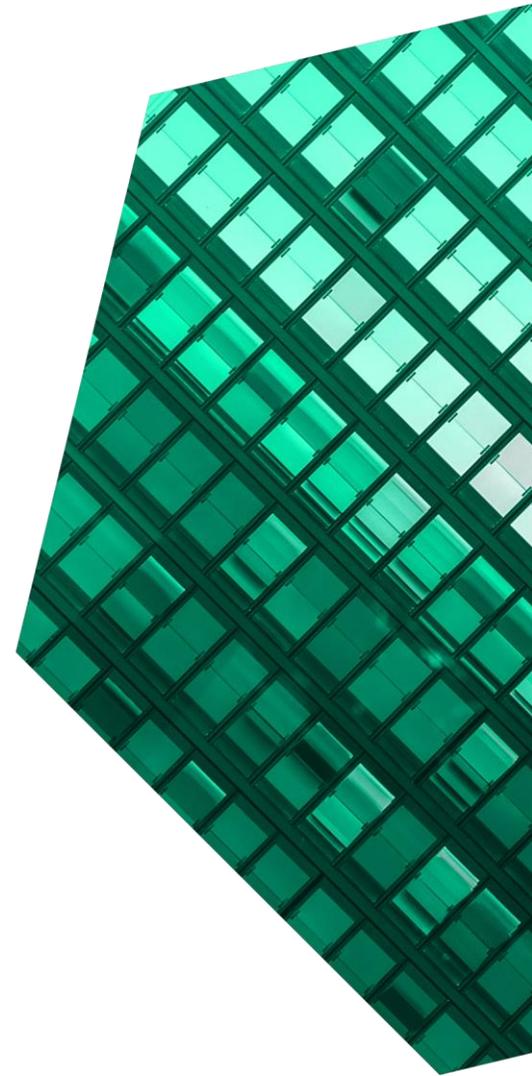
Figma で可能になる
業務上の便益とコスト節減

2021 年 9 月

目次

コンサルティングチーム : Amy Harrison

エグゼクティブサマリー	1
Figma プラットフォームのカスタマージャーニー...	7
主な課題	7
ソリューション要件/投資目的	8
複合型組織	8
ベネフィット分析	10
ベンダーライセンスの統合	10
問題定義段階での効率性の改善	11
アイディエーション/クリエイション段階 での効率性の改善	13
開発・実装段階での効率性の改善	16
定量化できなかったベネフィット	17
柔軟性	19
費用分析	20
Figma ライセンス費用	20
Figma 実装の社内費用	21
財務サマリー	23
添付資料 A : Total Economic Impact	24
添付資料 B : 脚注	25



FORRESTER CONSULTING について

Forrester Consulting は、組織のリーダーが変革の主な成果を上げるうえで有益な、客観的かつ独立した調査に基づくコンサルティングを提供しています。詳細については、forrester.com/consulting をご覧ください。

© Forrester Research, Inc. 無断複写・複製・転載を禁ず。許可のない複製は固く禁止されています。記載されている情報は、入手可能な最良のリソースに基づいたものです。見解は、本書発行時点での判断を反映しているため、変更される可能性があります。Forrester®、Technographics®、Forrester Wave、RoleView、TechRadar、Total Economic Impact は、Forrester Research, Inc.の商標です。その他の商標はいずれも各企業に帰属します。

エグゼクティブサマリー

世界で最も顧客思考で、革新的で、賞賛される企業は、優れたデザインを目指し、デザインに投資しています。デザインの恩恵を受けるためには、デザインを経営原則とし組織全体に適用する必要があります。デザインシステムによって、優れたプロダクトデザインの決定を拡大し、製品が異なっても一貫した用語、インタラクション、デザインパターンを適用し、カスタマーエクスペリエンス (CX) を改善することが可能になります。Figma は、デザインシステムを構築し、管理するために必要なツールキットを提供します。

Figma は、企業がより優れたデザインによる製品をより迅速に市場に投入できるようにする、ウェブベースのデザインプラットフォームです。このプラットフォームは、デザイナーや他部門の同僚との間のコラボレーションを最適化します。デザインプロセスの信頼できる唯一の情報源として機能し、ユーザーは常に最新のデザインファイルでコラボレーションできるようになります。Figma のデザインシステムによって、デザインチームがアセット制作を標準化し、規定することができるため、ブランド全体で一貫性を確保することができます。最後に、サードパーティが開発したプラグインを利用できるオープンコミュニティを使用し、各企業が自社独自のビジネスに必要な機能性をカスタマイズできるようにしています。

Figma は Forrester Consulting に対し、Total Economic Impact™ (総経済効果、TEI) 調査、および Figma の導入によって企業が実現できる潜在的な投資利益率 (ROI) の検証を委託しました。¹ この調査の目的は、Figma が組織に及ぼす潜在的な財務的影響を評価するフレームワークを提供することです。

この投資に関連するベネフィット、費用、リスクを深く理解するため、Forrester は、Figma の使用経験がある 4 社の 12 人の意思決定者を対象にインタビューを実施しました。本調査では、Forrester はインタビューの対象となった顧客の経験を集計し、その結果を単一の**複合型組織**に組み合わせました。

Figma を使用する前は、顧客はデザイナー、デベロッパー、プロダクトマネージャー、マーケティング間のコラボレーションを容易にするデザインツールを組み合わせ使用していました。しかし、さまざま

主要指標



投資利益率 (ROI)

231%



正味現在価値 (NPV)

245 万ドル

なデザインツールに問題があったため、従業員はシームレスに意思疎通ができませんでした。さらに、すべてのチームが同じソフトウェアおよびハードウェアのプラットフォームにアクセスできたわけではなく、デザインライフサイクルを通じて、デザイナーが PDF ファイルをダウンロード、スクリーンショット取得、作成、共有するワークフローに遅れが生じました。

顧客は Figma に投資した後、効率的なワークフロー、デザインシステム、プラグインを作成し、デザインタスクを自動化することによって数百万ドルを節約しました。インタビュー対象者は、Figma の使用によって、本来よりも 4 倍速く製品を提供できるようになったと語りました。UX エンジニアは、「Figmaのおかげで、コラボレーションが一層リアルタイムになり、弊害となっていた部分を取り払われました。つまり、私たちはより迅速にコラボレーションし、プロジェクトをより速く進めることができるようになりました。これまでになかったペースで、アイデア[概念から市場投入まで]を出すことができるようになりました」と述べました。

主な結果

定量化されたベネフィット。 リスク調整後の現在価値（Present Value、PV）の定量化されたベネフィットには以下が含まれます。

- **デザインツールの統合。** Figma を使う前は、プロダクトデザインをするために複数のデザインツールを使ってきました。Figma を利用することで、デザインプロセスすべてに必要なことが Figma だけで完結するため、これまで利用してきた複数のデザインツールを利用する必要がなくなりました。Figma 一つにできたことで、他の製品に支払っていたライセンス費用74万ドルを超える支出を削減することができました。
- **問題定義段階での効率性の改善。** 異なる地域に所在し、リアルタイムでコミュニケーションできないチームにとって、効果的なコラボレーションは困難でした。Figma のコラボレーション機能によって、チーム間のコミュニケーションのプロセスが容易になったため、デザインが組織内に与える影響が大きくなり、問題定義段階で効率が10%改善しました。

アイディエーション・クリエイション段階。

Figmaにより、デザインチームはデザイン全般で正しいタイポグラフィ、色、アセットを一貫して適用しやすくなります。このデザインシステムは、チームが以前、アセットのリポジトリの維持という単調ながら必要な業務に費やしていた、数千時間を削減しました。さらに、プレビルドのテンプレートを作成することによって、チームは、デザイン工数を50%超削減しました。インタビュー対象者によると、こうした機能の業務へのインパクトは、アイディエーション・クリエイション段階で最大になり、プロセスを60%最適化します。あるハイテク企業の幹部によると、これは年間1,000万ドル以上の効果になります。

- **開発・実装段階での効率性の改善。** デザインチームがワークフローを変更し、デベロッパーをプロセスの初期段階で参加させるようにしたところ、長いデザインスペックを書くための時間が削減されました。今では、デベロッパーは技術的な課題を特定し、プロジェクトの経緯を理

「Figmaは単なるツールではなく、プラットフォームであると言えます。デザインにアクセスし、特定の要素、スタイル、コンポーネントを取り出すことができる当社のDevOpsプラットフォームと併用しています。それは、私たちが必要とするすべてのことを提供しています。」

—ハイテク企業、プリンシパルソフトウェア開発責任者

解し、初期プロトタイプを確認することができます。開発チームは、既存のプラグインを活用するか、自身のビジネスに適した固有のカスタムコードを作成することによって、機能を自動化できることを説明しました。開発チームは、開発・実装段階で、生産性が 30%向上したことに気付きました。

定性的なベネフィット：本調査において数値化できなかったベネフィットには、以下が含まれます。

- **市場投入までのスピードの加速。**ある製造業の意思決定者は、エージェンシーにアウトソースするのではなく、Figma を活用することによって、社内でどのようにしてプロジェクトを 4 倍速く完了できるようになったかについて説明しました。UX チームでは、すべてのツールとプロジェクトファイルが同じエコシステムに存在するため、デザインサイクルタイムを短縮できました。
- **エージェンシーにかかる費用の削減。**クリエイティブ企業に作業を依存していた企業は、エージェンシーにかかる費用を 50%~90%削減しました。Figma の導入によって、従業員の時間は最適化され、必要に応じてエージェンシーを採用するために必要な一貫性とガバナンスが提供されました。
- **ヒューマンエラーの減少と製品の品質の向上。**Figma はデザインプロセスを合理化することで段階数を削減し、人為的なエラーが起こる可能性も低下させました。回答者は、Figma がもたらしたポジティブな業務へのインパクトは、実用最小限の製品 (MVP) に代わって、優れたアーキテクチャ、優れたデザインのソフトウェアを発売できるようになったことだと説明しました。
- **革新と高価値の作業を実行する時間の増加。**Figma によって、デザイナーはファイルや承認されたフォントサイズを繰り返し探す必要がなくなり、顧客の問題を解決する時間をかけられるようになりました。
- **従業員の定着率 (リテンション) の向上。**Figma は、デザインチームの仕事やコラボレーションのしかたを変革し、従業員エクスペリエンスを

改善しました。デザインオペレーション (Design Ops) マネージャーは、「Figma が非常に有望な UX デザイナーのリテンションに役立った」と回答しました。

- **リーダーの早期合意。**Figma を利用したコラボレーションにより、リーダーは PNG やワイヤーフレームに基づいて重大な決定を下すのではなく、プロジェクトファイルを直接見て、プロトタイプを体験できるようになりました。上層部を早期に巻き込むことで、プロジェクト終盤の変更を避けることができました。

「Figma は、当社の従業員定着に与えた影響は絶大でした。当社は基本的にプラットフォーム企業ですが、さまざまな事業が多数の製品を開発しており、多数の製品が当社プラットフォーム上で動いています。複数の製品を利用する場合、技術的なことだけでなく、UX の観点からもシームレスに連携する必要があります。」

ハイテク企業、シニアデザインプログラママネージャー

費用。リスク調整後の PV 費用には、以下が含まれます。

- **300 人のエディターの Figma ライセンス料、3 年間で 40.2 万ドル。**Forrester は財務モデルを作成するため、エディターライセンスを提示価格の年間 540 ドルとして分析した。

- **Figma の導入にかかる内部費用、3 年間で 65.8 万ドル。**プロジェクト責任者は、Figma のガバナンスと実施計画のプランニングと実装に 6 か月を費やした。8 人のワークストリーム責任者が 6 か月間、勤務時間の 20% を Figma に費やした。最後に、300 人のライセンス保有者は 16 時間の研修を受けた。

顧客のインタビューと財務分析の結果、この複合型組織では、3 年間で 106 万ドルの費用に対し、351 万ドルの便益が発生したことがわかりました。正味現在価値（NPV）は 245 万ドル、ROI は 231% となります。



投資利益率 (ROI)
231%

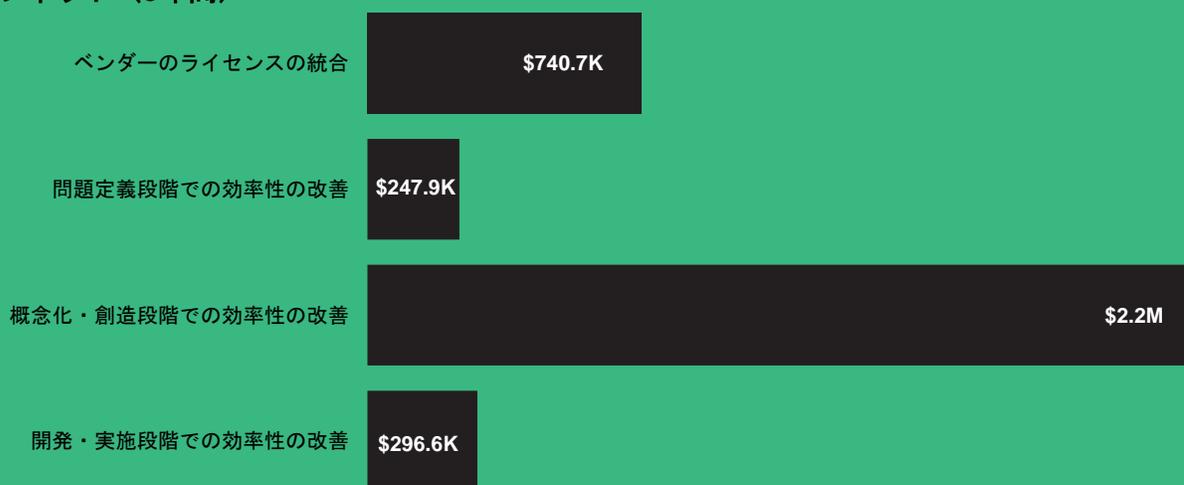


ベネフィットの現在価値 (PV)
352 万ドル



正味現在価値 (NPV)
246 万ドル

ベネフィット (3年間)



「当社はデザインプロセスとワークフローを進めるためだけに、4つか5つの異なるサービスを利用していました。Figma は、これらのすべてを既成概念にとらわれずに実行できることが当社にとって大きな魅力でした。」

— ハイテク企業、UX デザイナー

TEI のフレームワークと方法論

Forrester は、インタビューで提供された情報に基づき、Figma への投資を検討中の組織向けに Total Economic Impact™ のフレームワークを作成しました。

このフレームワークは、投資決定に影響を及ぼす費用、便益、柔軟性、リスク要因を特定することを目的としています。Forrester は、Figma が組織に与える可能性のある影響を評価するために、マルチステップアプローチを取りました。

開示事項

以下の点にご注意ください。

本調査は Figma の依頼を受け、Forrester Consulting が実施するものです。競合分析として使用されることを意図したものではありません。

Forrester は、他の組織が得る潜在的 ROI に関して、いかなる仮定もしていません。Forrester は、読者が Figma への投資の妥当性を判断するために、本調査で提供されたフレームワークの中で独自の概算を行うことを強く推奨します。

Figma は確認のうえ Forrester にフィードバックを提供しましたが、本調査とその結果に対する編集管理は Forrester が担当し、本調査に対して Forrester による発見事項と矛盾する変更または本調査の意味を曖昧にする変更を行うことを認めません。

Figma は、インタビューに関して顧客名を提供しましたが、インタビューには参加しませんでした。



デューデリジェンス

Figma のステークホルダーにインタビューを実施し、Forrester のアナリストが Figma プラットフォームの関連データを収集した。



顧客インタビュー

Figma を使用している 4 つの組織の 12 人の意思決定者を対象にインタビューを実施し、費用、便益、リスクに関するデータを取得した。



複合型組織

インタビュー対象者の組織の特徴に基づいて、複合型組織を設計した。



財務モデルのフレームワーク

TEI 手法を使用して、インタビュー結果を表す財務モデルを作成し、その財務モデルをインタビューの回答者が抱える問題と懸念事項に基づいてリスク調整した。



ケーススタディ

TEI の 4 つの基本要素（便益、費用、柔軟性、リスク）を投資効果のモデル化に組み込んだ。IT 投資に関連する ROI 分析がますます高度になるなかで、Forrester の TEI 手法は、購入決定の総合的な経済効果の全体像を提供している。TEI 手法の詳細については、添付資料 A を参照してください。

Figma プラットフォームのカスタマージャーニー

Figma への投資に向けて

インタビュー対象組織

業種	収益	インタビュー対象者	総従業員数	有料ユーザーの合計数
ハイテク	1,430 億ドル	プリンシパル UX デザイナー シニア UX デザイナー シニアデザイナー プリンシパルデザインマネージャー 常務取締役 UX エンジニア プリンシパルソフトウェア開発責任者 プリンシパルデザイナー	166,000	3,500
製造	191 億ドル	UX グローバル責任者	46,000	50~75
プロフェッショナルサービス	45 億ドル	シニアデザインプログラムマネージャー	12,500	317
金融サービス	45 億ドル	シニア UX デザイナー プリンシパル UX デザイナー	50,000	3,000+

主な課題

インタビュー対象者には、以下などの共通の課題があった。

- **テクノロジーが分散していることから混乱が生じ、バージョンコントロールのエラーが発生する。** デザインワークフロー内の全員が同じソフトウェアアプリケーションのセットを持っているわけではなく、同じバージョンを実行しておらず、さらには同じコンピューティングプラットフォームを使用していない、という状態だった。対応策として、従業員は自分で個人用のデザインシステムを作成した。それにはコンポーネント、ライブラリ、効率的に作業するためのツールなどが含まれていた。全員がひとつのデザインシステムで作業をしていなかったため、プロジェクトのメンバーがファイルを共有したときに問題が生じることがあった。あるプリンシパルデザインマネージャーによると、「まるでデベロッパーになったようでした。たくさんのコードを入手しても、それはどのパッケージのものなのかわからず、大きなストレスを感じていました。最初に実感したベネフィットは、信頼できる唯一の情報源である URL が共有でき

たことです。」Figma は、例えばリンクをチャットにドロップする簡単な方法によって、チームがファイルを共有できるようにし、繰り返しの作業をなくすことによってファイル共有を合理化しました。URL リンクをクリックすると、最新の作業が一元保管されている Figma のワークスペースにつながるの、バージョンコントロールのエラーがなくなります。

- **レガシー製品をアップグレードすると、プラグインが破損した。** インタビュー対象者は、プロトタイプとデザインツールが「うまく連携していない」という問題について何度も言及しました。デザイナーは、レガシーツール間のコミュニケーションなどの不可欠な機能をプラグインに頼っていました。あるシニアデザインプログラムマネージャーは、全員が同じバージョンのツールセットを実行するためにかかる多大な労力と、アップグレードプロセスが原因で発生していた問題について言及しました。「アップグレードするたびに[デザインツールが]破損し、プラグインが機能しなくなり、デザインシステムに問題が生じました。これはかなり大きなペインポイントでした。」

- **デザインとエンジニアリングの分断が摩擦を生じさせた。**プリンシパルソフトウェア開発責任者は、彼のチームが経験した問題について、次のように説明しました。「デザインとエンジニアリングというのは、アプリがどのように機能するべきかや、UX がどのようになるべきかを別々の言語で説明するようなものなのです。多くのコンテキストが失われていました。」さらに、「時にチームはデザインスペックを丸投げし、エンジニアが拾って正してくれることを期待します。」Figma は、デザイナーとデベロッパーがプロセスの初期段階でコラボレーションすることで、両者の架け橋となりました。そうすることで、両者のグループはプロジェクトの経緯や状況、プロジェクトが立ちあげられた意図を理解することができたのです。
- **セキュリティプロトコルがレガシーツールのコラボレーション機能をブロックする。**金融サービスのデザイナーは、過去のソリューション間のクラウドベースのファイル共有について、セキュリティプロトコルが警告を出すことを指摘

「Figma 導入前は、混乱状態でした。当社は[デザインツールファイル]とフラットファイルで作業していました。2 人または 3 人のデザイナーがフラットファイルで作業し、E メールや共有サーバで回覧しました。ファイルは[デザインツールプラットフォーム]の破損しやすいプラグインに依存していました。このプロセスの改善によって、Figma のネイティブ機能は重要な役割を果たしています」と述べました。」

金融サービス、プリンシパル UX デザイナー

しました。このため、ユーザーは手作業で、ファイルをダウンロードしてから取得して共有するという、手間のかかる対応をせざるをえませんでした。シニア UX デザイナーは、「Figma は当社のセキュリティチェックの全項目に見事に合格しました。対応策を使わず、PDF にウォーターマークを使用することなく、同じツールを通じてファイルを社内外と瞬時に共有できることは、当社のワークフローにとって大きなベネフィットでした。」

ソリューション要件/投資目的

インタビュー対象者の組織は、以下のソリューションを探していました。

- 外部プラグインに頼らなくても、ネイティブなコラボレーションが可能。
- OS に関係なく、正常に機能する。
- 最新セキュリティプロトコルに準拠している。
- エラー数が減少し、アップグレードしてもプラグインが破損しない。
- 複数のツールを維持する必要がなくなるが、デザインおよび開発チームが必要とする機能の大部分を提供できる。
- ビジネスの個々のニーズをサポートするカスタムのプラグインを作成できる。

複合型組織

インタビュー結果に基づいて、Forrester は、TEI フレームワーク、複合型組織、そして財務的な影響を受ける分野を示す ROI 分析を構築しました。複合型組織は、Forrester がインタビューを実施した 4 社の 12 人のインタビュー対象者を表すものであり、次のセクションで財務分析の集計結果を示すために使用されています。この複合型組織には以下の特徴があります。

複合型組織の概要

グローバルな、数十億ドル規模の B2B や B2C 組織は、消費者をターゲットとするリテールチャネルを通じて販売する製品を提供しています。この会社は

デジタルチャネルを活用して、消費者にベストインクラスの体験を提供し、消費者との密接な関係を築いています。組織は 30 を超えるブランドを管理し、世界中で運営しています。

プロジェクトの定義

プロジェクトを定義する範囲は、規模と期間により異なります。これまで、デザイナーはウェブサイトやアプリの再設計など、隔離された状態で高い集中力を要するプロジェクトに取り組んできました。

現在では、多くの組織はアジャイルに取り組み、製品を継続的に進化させています。これにはUXの問題の修正や全く新しい体験の創造などが含まれる可能性があります。

一貫したモデルを作成するため、Forrester は以下を想定しました。

- **プロジェクトの定義**：多数の小規模な短期プロジェクトと、2つの1年にわたる長期かつ大規模なプラットフォームの再設計の平均値を想定します。
- **デザインチームの特徴**：デザインチーム（インタラクション、UX、ビジュアルデザイナー、DesignOps、リサーチ、コンテンツ戦略などの役割が含まれます）には、小規模なプロジェクトチームで働く人が300人います。仕事の規模と範囲により、各プロジェクトに必要な追加人員数が決定されます。
- **プロジェクトチームの規模**：各プロジェクトには、プロジェクトの各段階を通じて深く関与するデザイン責任者、製品責任者、技術責任者がいます。例えば、プラットフォームの再設計のようなプロジェクトの場合、20人のチームが必要ですが、モバイルアプリのコードのアップグレードにはデザイナー兼デベロッパーが1人必要です。このモデルは、年間プロジェクトの総額の平均を想定しています。

主な想定内容

- **グローバルな B2B2C 企業**
- **30 ブランドを管理**
- **1 年間複数の短期プロジェクトと 2 件の大型プロジェクト**

「何かをアップロードする必要がなく、即時の通知でファイルにアクセスできるという絶対的な事実は、まさに天と地の違いです。以前は、Eメール送信に頼り、デザイナーが変更するか、どこかにメモを追加することを期待していました。ツールに接続性があるため、削除、修正、作成できる新しいプロセスが非常にたくさんあります。」

金融サービス、シニア UX デザイナー

ベネフィット分析

■ 複合型組織に適用する数値化されたベネフィットデータ

総ベネフィット						
参照	ベネフィット	1年目	2年目	3年目	合計	現在価値
Atr	ベンダーライセンスの統合	219,375 ドル	315,563 ドル	373,275 ドル	908,213 ドル	740,674 ドル
Btr	問題定義段階での効率性の改善	31,104 ドル	124,416 ドル	155,520 ドル	311,040 ドル	247,944 ドル
Ctr	アイディエーション・クリエイション段階での効率性の改善	279,936 ドル	1,119,744 ドル	1,399,680 ドル	2,799,360 ドル	2,231,496 ドル
Dtr	開発・実装段階での効率性の改善	46,656 ドル	116,640 ドル	209,952 ドル	373,248 ドル	296,551 ドル
	総ベネフィット（リスク調整後）	577,071 ドル	1,676,363 ドル	2,138,427 ドル	4,391,861 ドル	3,516,665 ドル

ベンダーライセンスの統合

エビデンスとデータ。顧客は以前利用していたベンダーとの複数の契約を統合し、直接費を削減しました。インタビュー対象者は、デザイン、ファイル共有、コラボレーション、プロトタイプに別々のツールを購入していると回答しました。Figma のウェブベースのプラットフォームは、プロジェクトデザインのライフサイクルの各段階を通じて、デザイナーが使用するツールを統合しました。顧客は複数のソリューションを必要としなくなり、ライセンス費用を削減するために、重複したツールを手放すようになりました。プリンシパル UX デザイナーは、「大きなベネフィットの 1 つは、複数の製品から 1 つの製品に統合できたことです。すべてを統合して、1 つのツールにまとめ、すべてを同じエコシステムで機能させることは、当社にとって大変理にかなったものでした」と語りました。

モデリングと仮定。複合型組織について、Forrester は以下を想定しています。

- 同社は、デザインとプロトタイプのツールの組み合わせにユーザー 1 人あたり 655 ドルを支払った。
- 組織は Figma を導入する前、個別のデザインツールに別途支払っていた。

- 300 人のユーザーがレガシーソリューションを使用していた。
- レガシーのデザインツールは、プロトタイプのニーズを満たしておらず、複合型組織は年間 3 万ドルを支払って別のソフトウェアライセンスを購入せざるを得なかった。
- 組織がライセンス料の削減を計上するペースには、2 つの要因が影響します。
 - レガシー契約の期間および更新時期。
 - Figma の採用率と、プラットフォーム内のすべての機能の使用。

「当社はデザインプロセスとワークフローを進めるためだけに、4 つか 5 つの異なるサービスを利用していました。Figma は、これらのすべてを既存概念にとらわれずに実行できることが当社にとって大きな魅力でした。」

ハイテク企業、シニアデザイナー

リスク。ベンダーのライセンスの統合は、以下の要因により異なります。

- 以前組織で使用していたレガシーツールの数。
- 以前のツールを終了するペース。
- ユーザーの人数。

- Figmaの採用率と潜在能力が完全に活用されている率。

結果。これらのリスクを考慮して、Forresterはこのベネフィットを10%下方調整し、3年間のリスク調整後総PV（割引率10%）を74.1万ドルと算定しました。

ベンダーライセンスの統合					
参照	指標	出典	1年目	2年目	3年目
A1	回避した以前のデザインシステム（プラットフォーム）ツールの費用	インタビュー	655ドル	655ドル	655ドル
A2	回避した以前のデザインシステム（デザインのみ）ツールの費用	インタビュー	770ドル	770ドル	770ドル
A3	有料ユーザーの人数	想定	300	300	300
A4	レガシーのプロトタイプソリューション	インタビュー	30,000ドル	30,000ドル	30,000ドル
A5	ライセンスの減少率	想定	50%	75%	90%
At	ベンダーライセンスの統合	$((A1+A2)*A3)*A5+A4$	243,750ドル	350,625ドル	414,750ドル
	リスク調整	↓10%			
Atr	ベンダーライセンスの統合（リスク調整後）		219,375ドル	315,563ドル	373,275ドル
3年間の合計：908,213ドル			3年間の現在価値：740,674ドル		

問題定義段階での効率性の改善

エビデンスとデータ。問題定義段階は、企業が見込み客のニーズや動機を発見し定義する、デザインプロセスの基礎です。この段階では、デザインプロセスの残りの部分について、チームは解決する問題に対し共通の理解に基づいて協力します。デザインリサーチャー、プロダクトマネージャー、UXデザイナー、ビジネスステークホルダーはいずれも顧客のニーズを決定するうえで貴重な役割を果たしています。

Figma導入前、企業は対面のワークショップに依存しており、考えやアイデアを共有するためには非効率で面倒なファイル共有プロセスが必要でした。Figmaの導入によって、離れた地域に所在し、リアルタイムにコミュニケーションできないチーム間でも、効果的なコラボレーションが可能となりました。

あるシニアデザインプログラムマネージャーのプロフェッショナルサービス企業では、チーム間のコミュニケーションプロセスを容易にすることで、デザインの役割の向上に貢献しました。回答者は、最近ではデザインの役割が高まっていると述べました。「デザインについては、全てが決まった後でしか知ることができない、ということはありませんでした。デザインは最前線のものとなり、製品のロードマップを決定するようなビジョンづくりの仕事や、調査を提供する存在になっています。」

モデリングと仮定。Forresterは顧客のインタビューに基づいて、以下を想定しています。

- プロダクト、技術、デザインの各責任者に、デザイン、プロダクトマネージャー、ビジネスステークホルダー、デザインリサーチャーなど、平均 10 人のチームメンバーが問題定義段階に参加する。
- 複合型組織は、毎年平均して 30 件の短期間のアップグレード、2 件の長期間の詳細プロジェクトを実施する。
- この段階に参加する 10 人のチームメンバーのそれぞれについて、会社が負担する給与の平均は 1 時間 72 ドル。
- 問題定義の段階で、Figma はチームメンバーが費やす時間が 10% 減少するというインパクトを与えた。
- ベストプラクティスとして、Forrester は、開発・実装段階に参加する従業員は、削減した時間の 50% を生産的な作業時間に変換することを認識しています。
- Figma を使用してコラボレーションする従業員が増えるにつれ、時間削減の価値は 20% から 90% に増加する。

「Figma の素晴らしい点は、URL を受け取った相手が作業を見ることができ、作業のプロトタイプを感じることもできることです。Figma は、ワークフローの設計や調査といった反復的な部分や、購入や承認に関する手続きを進めるスピードを改善しました。」

ハイテク企業、プリンシパルデザイナー

「仕様やアセットのユーザー調査、対話、エクスポートのプロセスには、5 人、10 人、15 人、あるいはそれ以上の人数が関与しています。全員が 1 か所で働けるようにすることで、かなりスピードを上げることが出来ます。」

金融サービス、プリンシパル UX デザイナー

リスク。問題定義段階での効率性の改善は、以下の要因により異なります。

- 各プロジェクトに関与するチームメンバーの人数。
- この段階にあるプロジェクトの件数および長さ。
- チームが Figma を採用するペース。

結果。これらのリスクを説明するため、Forrester はこのベネフィットを 10% 下方調整し、3 年間のリスク調整後の総 PV を 24.8 万ドルと算出しました。

問題定義段階での効率性の改善

参照 指標	出典	1 年目	2 年目	3 年目	
B1	プロジェクトチームメンバーの平均人数	想定	10	10	10
B2	プロジェクトの年間平均件数	想定	30	30	30
B3	問題定義段階にある平均プロジェクトの長さ (時間)	4 週間*週 40 時間	160	160	160
B4	プロジェクトチームのメンバーの会社負担平均時給 (間接費込み)	想定	72 ドル	72 ドル	72 ドル
B5	問題の定義段階で Figma が削減した時間の割合 (%)	想定	10%	10%	10%
B6	生産性の回復	Forrester のベストプラクティス	50%	50%	50%
B7	1 年間に実現する価値の割合	想定	20%	80%	100%
Bt	問題定義段階での効率性の改善	$(B1*B2*B3*B4)*B5*B6*B7$	34,560 ドル	138,240 ドル	172,800 ドル
	リスク調整	↓ 10%			
Btr	問題定義段階での効率性の改善 (リスク調整後)		31,104 ドル	124,416 ドル	155,520 ドル
3 年間の合計 : 311,040 ドル			3 年間の現在価値 : 247,944 ドル		

アイディエーション / クリエイション段階での効率性の改善

エビデンスとデータ。 インタビュー対象者によると、Figma がビジネスに与えた最大のインパクトは、アイディエーション・クリエイション段階で広がります。デザインチームに複数のデザイナーがいるとき、Figma によって、正しいタイポグラフィ、カラー、アセットを一貫して適用しやすくなります。このデザインシステムは、チームが以前、単調ながら必要な業務に費やしていた、数千時間を節約しました。専門サービス企業のシニアデザインプログラムマネージャーは、以下のように説明しました。「以前、初期段階のデザインを作成するとき、デザイナーは利用できるコンポーネントと、それらのロケーションを把握する必要がありました。ライブラリを持っていない可能性がある別のチームからコンポーネントを見つけるために、何百という対話を重ね、探しているコンポーネントが含まれているのは前回のデザインだけだった、ということがありました。それは悪夢でしたが、これからはそういうことはなくなります。」

各インタビュー対象者は、Figma がアイディエーション・クリエイション段階で効率を高めたという以下のような例を挙げました。

- **アセットの生成においてチームが良いスタートを切る。** Figma を使用すると、デザイナーはアイコンやページのテンプレートを毎回一から作成するのではなく、デザインシステムやページのテンプレートを作成することができます。シニアデザインプログラムマネージャーは、彼のチームがデザインにかかる時間を 50%以上削減したと説明しました。「1 ページに 10 のコンポーネントとデザインがある代わりに、ページのテンプレートを使用してそのページを再構築しました。初日に 50 ヤードのラインに辿り着けると、エンドゾーンから始めるのとは違います。」
- **デザインオペレーションにフレームワークを提供する。** デザインオペレーションチームは、最新ファイルのアップデートに関し、クリエイターに責任を負わせることがなくなりました。Figma によって、デザインシステムチームは、更新されたアセットの公開や、デザインシステムの更新を自動的にすることができます。

- **従来のプレゼンテーションツールの置き換え。**
インタビュー対象者はデザインを提示する際、PowerPoint やその他のプレゼンテーションのアプリケーションではなく、Figma を使用しました。デザイナーは、プロトタイプ、緻密な画面、ハンドオフのデザインを作成でき、すべてを同じツール内でステークホルダーに提示することができます。プリンシパルソフトウェア開発責任者は、ミーティングがいかにインタラクティブになったかを説明し、「従来のようにスライドをただ見せるのではなく、プレゼンターの視点ライブでフォローできるため、デザインを以前よりも速く進めることができます」と述べました。

「全員が同じビルで同じことに集中していると、スプリントで作業している感じです。Figmaによって、それを大規模に実行することが可能です。」

ハイテク企業、UX エンジニア

- **分散したチームでもほぼリアルタイムで集結。**
リアルタイムで動けないチームは、非同期的にコラボレーションできます。これにより、デザイナーはファイルを壊す恐れを感じることなく、プロジェクトの履歴を読み、コメントにアクセスできます。ハイテク企業のプリンシパルデザイナーは、「リサーチ、エンジニアリング、あるいはマーケティングにおいて、Figma で初期段階でコラボレーションすると、『これについて、なぜ考えなかったのか』、『この手順を忘れた』、『このエンジニアリングの問題は思い浮かばなかった』という質問が減少します。1 つの URL を通じてメンバーをデザインプロセスに早期に関与させることができるので、コラボレーションと承認プロセスのスピードを速めることが可能です。」

「従来は、コラボレーションのために 3 つの異なるツールを使用していて、とても困難でした。Figma の基本となる柱は、コラボレーションに関することです。Figma Library による共有は、最高レベルです。すべてが最新の状態を維持し、以前より機能します。シームレスで、便利です。」

専門サービス、シニアデザインマネージャー

モデリングと仮定。Forrester は顧客のインタビューに基づいて、以下を想定しています。

- 平均してチームメンバーの 12 人がアイディエーション・クリエイション段階に参加する。多くの場合、そうした役職には、プロダクト、技術、デザインの各責任者、さらにデザイナー、プロダクトマネージャー、ビジネスステークホルダー、法務、コンテンツストラテジスト、UX ライターなどが含まれる。
- 短期のアップグレード作業と長期で詳細にわたるプロジェクトを含むプロジェクトの平均件数は、年間 30 件。
- この段階に参加する 12 人のチームメンバーのそれぞれについて、会社が負担する給与の平均は 1 時間 72 ドル。
- アイディエーション・クリエイション段階で、Figma はチームメンバーが費やす時間が 60% 減少するというインパクトを与えた。
- アイディエーション・クリエイション段階に参加する従業員は、節減した時間の 50% を生産的な職場での時間に振り向ける。

- Figma を採用する従業員が増えるにつれ、デザインシステムは標準化され、更新を自動化するためにプラグインが使用される。これによって、捉えられた価値の割合 (%) は 20% から 90% に上昇した。

リスク。アイディエーション・クリエイション段階での効率の改善は、以下の要因により異なります。

- 各プロジェクトに関与するチームメンバーの人数。
- この段階にあるプロジェクトの件数および長さ。
- チームが Figma を採用するペース。

結果。これらのリスクを説明するため、Forrester はこのベネフィットを 10% 下方調整し、3 年間のリスク調整後の総 PV を 220 万ドルと算出しました。

「当社の 10,000 を超えるコンポーネントのデザインシステムは、以前メンテナンスに数百万ドルがかかっていました。Figma のプラグインによって、スケーリングや、強み、塗りつぶし、塗りつぶしなしバージョンなどのさまざまな独自の機能を通じて、アイコンを自動的に翻訳することによって、手作業を除去しています。これらのツールによって当社の効率が高まっただけでなく、各財務年度に会社の費用を節約できるようになりました。」

ハイテク企業、UX エンジニア

アイディエーション・クリエイション段階での効率の改善					
参照	指標	出典	1 年目	2 年目	3 年目
C1	プロジェクトチームメンバーの平均人数	想定	12	12	12
C2	プロジェクトの年間平均件数	想定	30	30	30
C3	アイディエーション・クリエイション段階にある平均プロジェクトの長さ (時間)	6 週間*週 40 時間	200	200	200
C4	プロジェクトチームのメンバーの会社負担平均時給 (間接費込み)	想定	72 ドル	72 ドル	72 ドル
C5	観念化・創造段階で、Figma によって削減した時間 (%)	想定	60%	60%	60%
C6	生産性の回復	Forrester のベストプラクティス	50%	50%	50%
C7	年度別に実現する価値の割合	想定	20%	80%	100%
Ct	アイディエーション・クリエイション段階での効率の改善	$(C1 * C2 * C3 * C4) * C5 * C6 * C7$	311,040 ドル	1,244,160 ドル	1,555,200 ドル
	リスク調整	↓ 10%			
Ctr	アイディエーション・クリエイション段階での効率の改善 (リスク調整後)		279,936 ドル	1,119,744 ドル	1,399,680 ドル
3 年間の合計 : 2,799,360 ドル			3 年間の現在価値 : 2,231,496 ドル		

「プラグインのエコシステムも、Figmaの長所です。第三者のプラグインは非常に堅牢です。Figmaに機能がない場合、通常、そのギャップを埋めるコミュニティからのプラグインがあります。」

専門サービス企業、シニアデザインプログラママネージャー

開発・実装段階での効率性の改善

エビデンスとデータ。Figma 導入前は、開発者がデザインプロセスに参加するのが遅い、あるいはまったく関与しないことがよくありました。デザインチームはこれに対処するため、バージョンや詳細スペックの履歴を文書化するために、膨大な時間を費やしました。しかし、多くの場合、コンテキストと意図が失われていきました。Figma 導入後、デザインチームは、ワークフローを変更し、開発者をプロセスの初期に参加させるようにしたところ、従来なら長いデザインスペックを書くために費やされていた時間が削減されました。開発者は技術的な課題を特定し、プロジェクトの経緯を理解し、初期プロトタイプを見ることができるようになりました。

プロフェッショナルサービス企業のプリンシパルソフトウェア開発責任者は、「当社のエンジニアは、Figma のセールスポイントは、リンクをクリックして、デザインをすぐに見られることであると言います。エンジニアは、デザイナーが使う他の機能については興味がなく、動くツールを必要としているのです。」

開発チームはまた、プラグインアーキテクチャを使用して、機能性を自動化する方法についても説明しました。チームは既存のプラグインのコミュニティを活用するか、自身のビジネスに適した固有のカスタムコードを作成します。

モデリングと仮定。Forrester は顧客のインタビューに基づいて、以下を想定しています。

- 平均してチームメンバーの5人が開発・実装段階に参加する。そうした役職には、製品、技術、デザインの各責任者、さらに開発者またはエンジニアが含まれる。
- 短期のアップグレードと長期で詳細にわたるプロジェクトを含むプロジェクトの平均件数は、年間30件。
- この段階に参加する10人のチームメンバーのそれぞれについて、会社が負担する給与の平均は1時間72ドル。
- 開発・実装段階で、Figmaはチームメンバーが費やす時間が30%減少するというインパクトを与えた。
- ベストプラクティスとして、Forrester は、開発・実装段階に参加する従業員は、節約した時間の50%に生産的な仕事をする認識している。
- Figma を使用して協働する従業員が増えるにつれ、時間節約の価値は20%から90%に増加する。

リスク。開発・実装段階での効率性の改善は、以下の要因により異なります。

- 各プロジェクトに関与するチームメンバーの人数。
- この段階にあるプロジェクトの件数および長さ。
- チームがFigmaを採用するペース。
- 結果。これらのリスクを説明するため、Forresterはこのベネフィットを10%下方調整し、3年間のリスク調整後の総PVを296,551ドルと算出しました。

開発・実装段階での効率性の改善					
参照	指標	出典	1年目	2年目	3年目
D1	プロジェクトチームメンバーの平均人数	想定	5	5	5
D2	プロジェクトの年間平均件数	想定	30	30	30
D3	開発・実装段階のプロジェクトの長さ（時間）	4週間*週40時間	160	160	160
D4	プロジェクトチームのメンバーの会社負担平均時給（間接費込み）	想定	72ドル	72ドル	72ドル
D5	開発および実装段階で、Figmaによって削減された時間（%）	想定	30%	30%	30%
D6	生産性の回復	Forrester のベストプラクティス	50%	50%	50%
D7	年度別の実現する価値の割合	想定	20%	50%	90%
Dt	開発・実装段階での効率性の改善	$(D1 * D2 * D3 * D4) * D5 * D6 * D7$	51,840ドル	129,600ドル	233,280ドル
	リスク調整	↓10%			
Dtr	開発・実装段階での効率性の改善（リスク調整後）		46,656ドル	116,640ドル	209,952ドル
3年間の合計：373,248			3年間の現在価値：296,551		

定量化できなかったベネフィット

インタビュー対象者は、Figma を使用したことで経験したものの、直接数値化できなかった価値について、多くのストーリーを共有しました。これには以下が含まれます。

- 市場投入までのスピード。** 製造業のグローバル UX 責任者は、彼のチームがイニシアティブを加速させた方法について説明しました。「エージェンシーを利用するよりも、社内で約4倍の速さでこれを行うことができます。私たちは月曜日に、マーケティング部門とキャンペーンの展開について打ち合わせました。1週間後、デザイン業務がすべて完了したとき、ブランドマネージャーは驚きを隠せませんでした。マネージャーは、エージェンシーに依頼したら、少なくとも1週間はかかるだろうと言いました。」それについて幹部は、「この規模の組織の場合、通常イニシアティブはさまざまな事務手続きを経なければならないため、市場投入までのスピードが

課題となります。当社がはるかに迅速に行動できるという事実は、はるかに素早く市場に製品を投入できるようになることでもあります。」

- エージェンシーにかかる費用の削減。** クリエイティブワークの納品をそれまで代行業者に頼っていた企業は、そうした支出を50%~90%削減したと話しました。製造業のグローバル UX 責任者によると、Figma の導入によって、会社は従業員の時間を最適化し、必要に応じて業務委託するために必要な一貫性を提供します。幹部によると、「当社は当社の旗艦ブランドの1つに体験を創造するためにデザインに費やした時間を検討しました。時間投資をし、この体験を全く異なる地域に実装した後、全く新しいサイトにデザインワークを1.5万ドルで納品しました。この費用は、エージェンシーを通すと、10万ドルを超えるでしょう。これは年間100件ありますから、この費用と時間効率は大きく累積し始めています。」

「Figmaによって、デザイナーは、ボタンがどのくらい大きいかやテキストのサイズをどのくらいにすべきかではなく、困難な問題や解決しようとしていることについて考えるために時間を費やせるようになりました。そういったことは既にすべて完了しているからです。」

金融サービス、プリンシパル UX デザイナー

- **ヒューマンエラーの減少と、製品の質への好影響。**ハイテク企業のプリンシパルデザイナーはこう述べています。「Figmaの自動化機能によって、同社の製品の品質が改善したと説明しました。「フローの中で、人が介入し、何かを手作業で変更するステップがかなり減少しました。これが効率の中核的な部分です。システムが変更されると、個人で設計システムを改善しなくても、自動的に進化するので、各ユーザーは改善の恩恵を受けられます。」同じハイテク企業のプリンシパルソフトウェア開発責任者は、Figmaが自社のビジネスに与えた影響について説明しました。「当社は、単なる MVP の発売から、優れた設計で、優れたアーキテクチャのインターフェイスの発売へと変化を遂げました。世界は変化し続けており、ハードルはどんどん上がっていますが、正確性と品質をはるかに簡単に維持できるようになりました。」
- **イノベーションの進展。**金融業界のサービスデザイナーはこう述べました「彼のチームが高価値の仕事に取り組む時間が増えたと語っています。「Figmaによって、デザイナーは、ボタンがどのくらい大きいかやテキストのサイズをどの

くらいにすべきかではなく、困難な問題や解決しようとしていることについて考えるために時間を費やせるようになりました。そういったことは既にすべて完了しているからです。」

- **従業員の維持率（リテンション）の改善。**プロフェッショナルサービス企業のシニアデザインプログラママネージャーは、従業員の離職率に対する好影響について声を弾ませて回答しました。チームは、別のシニアデザインマネージャーから嬉しいメールを受信しました。「Figmaのメンバー全員にメッセージを送信する方法はわかりませんが、私のチームの複数のデザイナーにとって、Figmaの導入が変革的であったことをお伝えさせてください。うまくいくと思っていましたが、2人のデザイナーが、以前は自分の仕事が好きではなかったが、今は楽しんでいると言ったのです。Figma導入チームの仕事は素晴らしく、デザイナーを失わずに済む一因となったことにお礼を申し上げます。」
- **リーダーとのコミュニケーションの合理化。**金融サービスのプリンシパル UX デザイナーは、デザインプロセスを民主化し、リーダー同士をつなげることについて話しました。「Figma導入前、デザイン自体とそのプレゼンテーションには隔たりがありました。以前はこうしたファイルを PNG に変換し、プレゼンテーションツールに保存し、実際のデザインプロセスとの連携が

「Figmaでは、他のデザインプラットフォームでは非常に困難なことを可能にします。それは全員が信頼できる唯一の情報源にたどり着けるようにすることです。」

ハイテク企業、プリンシパルデザイナー

できなくなっていました。Figma ではコラボレーションができ、リーダーは自分でファイルにアクセスし、部下が作成しているプロトタイプを体験したり、デザインに直接フィードバックを提供することができます。これはかなり重要なことです。」

柔軟性

柔軟性の価値は、顧客によって異なります。顧客が Figma を実装した後で、別の使用方法やビジネスチャンスがあることに気付くシナリオが複数存在します。これには以下が含まれます。

- **チームの協力体制の改善。** ハイテク企業のプリンシパルデザイナーは、「私のような多くのデザイナーは、チームに見せられるレベルになるまで静かにしているものでした。Figma は思考プロセスとワークフローを際立たせるため、そのやり方が変化しました。Figma でとても簡単にフィードバックを受けられるようになり、メンバーはフィードバックを受けることに前向きになっています。」
- **カスタムビルドまたはコミュニティから安定したプラグインを提供する。** ハイテク企業の UX エンジニアは、Figma コミュニティとかわることから自身が得る利点について説明しました。「私たちは Figma におけるアーキテクチャとプラグインコミュニティの両方のプラグインを非常に真剣に捉えています。コミュニティは開放的で、簡単に利用やインストールできるので、私たちはプラグインを使用して多くのことを学び、多くの機会を活用することができます。Figma.com 上のコミュニティでは、この情報を探す必要がありません。コミュニティは一元化されていて、とても良いと思います。」

柔軟性は、特定のプロジェクトの一部として評価される場合にも数値化することができます（詳細は [添付資料 A](#) に記載）。

費用分析

■ 複合型組織に適用される数値化された費用データ

総費用							
参照	費用	初期	1年目	2年目	3年目	合計	現在価値
Etr	Figma ライセンス費用	0ドル	162,000ドル	162,000ドル	162,000ドル	486,000ドル	402,870ドル
Ftr	Figma 導入の社内費用	197,683ドル	448,589ドル	33,581ドル	33,581ドル	713,434ドル	658,474ドル
	総費用（リスク調整後）	197,683ドル	610,589ドル	195,581ドル	195,581ドル	1,199,434ドル	1,061,344ドル

FIGMA ライセンス費用

エビデンスとデータ。

- 複合型組織は、ユーザー1人あたり540ドルの価格を毎年支払っている。エディターライセンスに含まれるもの：
 - 無制限のプロジェクトとバージョン履歴。
 - カスタムファイルとユーザー許可。
 - 招待のみのプライベートプロジェクト。
 - 共有可能なチームライブラリと一元化されたチーム。
 - 組織全体のデザインシステムと分析。
 - プライベートプラグインとプラグイン管理。
 - 共有フォント。
 - SSO プラス高度なセキュリティ。
- 有料エディターのライセンスは、デザイン専門家、研究者、デベロッパー、幹部、製品マネージャー、マーケッターに割り当てられました。
- さらに、以下ができる無制限のビューアライセンスを作成できます。
 - 無制限のファイルのドラフト。
 - 無制限のビューアとコメンテーター。
 - 3つのチームファイルに無制限のエディター。
 - 1つのチームプロジェクト。
 - 30日間のバージョン履歴。
 - 無制限のクラウドストレージ。

結果。 Forrester は、この便益には提示価格を使用し、リスク調整をしませんでした。この結果、3年間のPVの総費用（割引率10%）は40.3万ドルになります。

Figma ライセンス費用

参照	指標	出典	初期	1年目	2年目	3年目
E1	Figma ライセンス費用	540 ドル		540 ドル	540 ドル	540 ドル
E2	有料ユーザーの人数	300		300	300	300
Et	Figma ライセンス費用	E1*E2		162,000	162,000	162,000
	リスク調整	0%				
Etr	Figma 年間ライセンス費用 (リスク調整後)		0 ドル	162,000 ドル	162,000 ドル	162,000 ドル
3年間の合計：486,000 ドル			3年間の現在価値：402,870 ドル			

FIGMA 実装の社内費用

エビデンスとデータ。 インタビュー対象者は、Figma が組織にもたらしたベネフィットについて、説明しました。Figma の導入、展開、ガバナンス、研修の戦略的なプランを作成するために時間とリソースを投資することによって、これらのベネフィットを達成することができました。

モデリングと仮定。 これを達成するために、複合型組織には以下の費用が発生した。

- プロジェクト責任者は、Figma の計画および実装に6か月を費やす。初期展開の後、責任者は事務業務に週8時間を費やす。
- 複合型組織は、戦略の策定、実施、ガバナンス、トレーニングのために、8人のワークストリームリーダーを任命する。リーダーは任務の20%の配分を交渉する。
- 30人のデザイナーが2日間にわたるスプリントを実行し、以前のデザインファイルを Figma のフォーマットに変換し、プラグインを構築した。Figma の導入チームは、初年度以降、さらに毎年40時間をプラグインの構築に費やす。
- ライセンスを保有する300人のエディターのそれぞれに複合型組織が研修を実施するのに16時間が必要。

「ツールを利用する以前から、Figma は、業務の観点と文字通りの設計システムファイルの観点の両方から、私たちの計画に役立っていました。当社はプリエンゲージメントの一環として、研修セッションを設定しました。他社のサポートは待たされるのと比較すると、大きな違いです。それは、Figma チームを利用することで当然得られるボーナスです。」

金融サービス、プリンシパルデザイナー

リスク。 この費用は、以下の要因により、組織によって異なる場合があります。

- チームによって、計画および実装プロセスに費やす時間とリソースに差異がある場合があります。
- オリエンテーションおよびオンボーディングのレベルは、チームが既存のデザインツールをどの程度熟知しているかによって異なります。

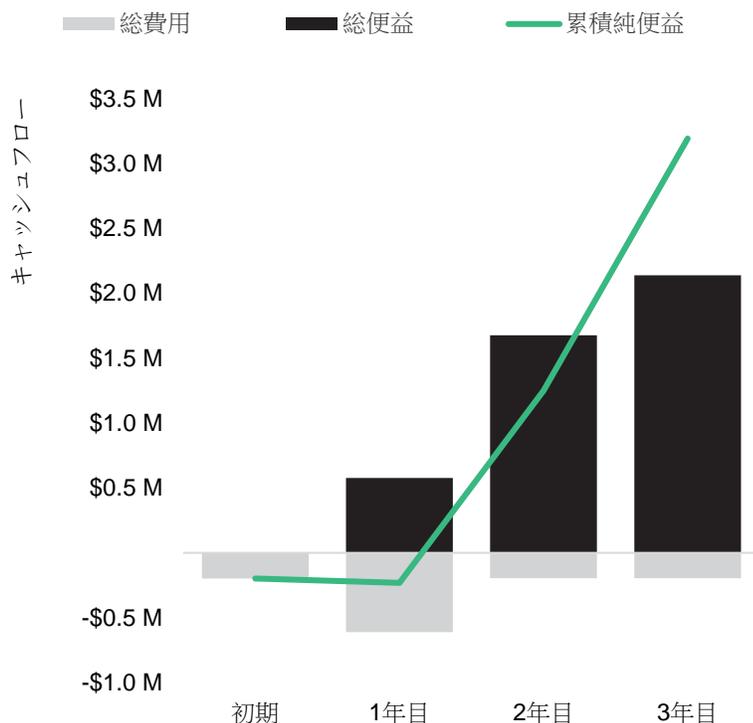
結果。これらのリスクを説明するため、Forrester はこの費用を 10% 上方調整し、3 年間のリスク調整後の総 PV を 65.8 万ドルと算出しました。

Figma 導入の社内費用						
参照	指標	出典	初期	1 年目	2 年目	3 年目
F1	導入を主導する勤務時間	週 40 時間*24 (6 か月)	960			
F2	Figma の継続的な管理時間	週に 8 時間		384	384	384
F3	ワークストリーム責任者の勤務時間	勤務時間の 20% の 6 か月分*8 人	1,536			
F4	ファイルの変換やプラグインのビルドに費やす勤務時間	2 日間のスプリントで 30 人のデザイナー		480	40	40
F5	デザイナー研修	16 時間		16		
F6	エディターライセンスを保有する従業員数	300	300	300		
F7	プロジェクトチームメンバーの会社負担平均給与	1 時間あたり 72 ドル	72 ドル	72 ドル	72 ドル	72 ドル
Ft	Figma 導入の社内費用	当初: (F1*F7)+(F3*F7) 1、2、3 年目: (F2*F7)+(F4*F7)+(F5*F6*F7)	179,712 ドル	407,808 ドル	30,528 ドル	30,528 ドル
	リスク調整	↑ 10%				
Ftr	Figma 導入の社内費用 (リスク調整後)		197,683 ドル	448,589 ドル	33,581 ドル	33,581 ドル
3 年間の合計: 713,434			3 年間の現在価値: 658,474			

財務サマリー

3年間のリスク調整後の連結指標

キャッシュフローチャート（リスク調整後）



ベネフィットとコストのセクションで計算される財務上の結果を使用して、複合型組織の投資の ROI と NPV を決定することができます。Forrester は、この分析の年間割引率を 10%と想定しています。

これらのリスク調整後 ROI、NPV の値は、各ベネフィットとコストのセクションにおける未調整の結果に、リスク調整要因を適用することによって決定される。

キャッシュフロー分析（リスク調整後の概算）

	初期	1年目	2年目	3年目	合計	現在価値
総費用	(197,683 ドル)	(610,589 ドル)	(195,581 ドル)	(195,581 ドル)	(1,199,434 ドル)	(1,061,344 ドル)
総ベネフィット	0 ドル	577,071 ドル	1,676,363 ドル	2,138,427 ドル	4,391,861 ドル	3,516,665 ドル
正味ベネフィット	(197,683 ドル)	(33,518 ドル)	1,480,782 ドル	1,942,846 ドル	3,192,427 ドル	2,455,321 ドル
投資利益率 (ROI)						231%

添付資料 A : Total Economic Impact

Total Economic Impact (TEI) は Forrester Research が開発した手法で、企業のテクノロジーに関する意思決定プロセスを改善させるとともに、ベンダーが自社の製品やサービスの価値提案を顧客に伝えることを支援するものです。この TEI 手法は、企業が IT の取り組みの有形価値を、その経営陣と他の主要ビジネスステークホルダーの両方に対して実証、正当化、実現するのに役立ちます。

TOTAL ECONOMIC IMPACT のアプローチ

ベネフィットは、この製品によって企業にもたらされた値を表す。TEI 法では、便益の算定と費用の算定に均等の重みを置き、テクノロジーが組織全体に与える影響を細部にわたって検証することを可能にします。

費用は、提案された製品の価値、または便益を実現するために必要なすべての経費を表す。TEI 内の費用カテゴリは、そのソリューションに関連した継続的な費用について、既存環境での漸増費用を把握します。

柔軟性は、すでに行った初期投資に加え、将来の追加投資から得られる戦略的な価値を表す。その便益を把握できる場合、PV を推定できます。

リスクは、1) 概算が当初の予想に合う可能性、2) 概算が経時的に追跡される可能性に基づいて、便益と費用の概算の不確実性を測定します。TEI のリスク要因は、「三角分布」に基づいています。

初期投資の欄には、割引が適用されていない「時間 0」または 1 年目の開始時に発生する費用を含みます。その他すべてのキャッシュフローは、年末時点の割引率を使用して割引されます。総費用と総便益の推定について、PV はそれぞれ算出されます。サマリー表の NPV の数値は、初期投資と各年の割引されたキャッシュフローの合計。総便益、総費用、キャッシュフローの表の合計および現在価値の数値は、四捨五入されている場合があるため、合計と正確に一致しない場合があります。



現在価値 (PV)

金利（割引率）を用いて算出された（割引された）費用と便益の現在価値または時価の推定。費用および便益の PV をキャッシュフローの総 NPV に適用します。



正味現在価値 (NPV)

金利（割引率）を用いて算出された、（割引された）将来のネットキャッシュフローの現在価値または時価。通常、プロジェクトの NPV がプラスである場合、投資は他のプロジェクトの NPV の方が高い場合を除き、行うべきである。



投資利益率 (ROI)

プロジェクトの予想リターン (%)。ROI は、正味便益（便益からコストを控除）を費用で割って算出します。



割引率

費用の時間的価値を考慮するため、キャッシュフロー分析で使用される金利。組織は通常、8%~16%の割引率を使用します。

添付資料 B : 脚注

¹ Total Economic Impact (TEI) は Forrester Research が開発した手法で、企業のテクノロジーに関する意思決定プロセスを改善させるとともに、ベンダーが自社の製品やサービスの価値提案を顧客に伝えることを支援するものです。この TEI 手法は、企業が IT の取り組みの有形価値を、その経営陣と他の主要ビジネスステークホルダーの両方に対して実証、正当化、実現するのに役立ちます。

FORRESTER®